

平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルデザイン
代表者名 代表取締役社長 星川 征仁
(コード：4764、JASDAQ グローズ)
問合せ先 管理部 桐山 雅志
(TEL. 03-5259-5300)

(訂正)「平成 26 年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年12月12日に開示いたしました「平成26年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成28年10月14日）付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度及び平成29年 1 月期第 1 四半期に係る決算短信（訂正）の公表並びに平成 29 年 1 月期第 2 四半期報告書提出及び平成29年 1 月期第 2 四半期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 業務推進グループ (氏名) 桐山雅志 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	98	△59.7	△32	—	△32	—	△35	—
25年1月期第3四半期	245	103.1	28	—	32	—	△254	—

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 △34百万円(—%) 25年1月期第3四半期 △254百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年1月期第3四半期	△13.08		—	
25年1月期第3四半期	△94.66		—	

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
26年1月期第3四半期	1,047		1,011		96.5		375.68	
25年1月期	1,087		1,046		96.2		388.75	

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 1,010百万円 25年1月期 1,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年1月期	—	0.00	—			
26年1月期(予想)				0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年1月期3Q	2,691,000株	25年1月期	2,691,000株
26年1月期3Q	－株	25年1月期	－株
26年1月期3Q	2,691,000株	25年1月期3Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当株式該分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きの対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年オリンピック東京開催決定による景況感回復の気配、継続する円安による製造業の堅調ぶり等、明るい材料が散見され、一部で景気回復の兆しがみられました。

しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、モデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。集中すべき営業案件のチームマネジメントの強化に加え製品の機能強化をしてまいりましたが、開発案件の遅延及び新機能のお客様評価に時間がかかり、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高98,640千円(前年同期比59.7%減)、営業損失32,780千円(前年同期は営業利益28,603千円)、経常損失32,567千円(前年同期は経常利益32,568千円)、四半期純損失35,186千円(前年同期は四半期純損失254,732千円)となりました。

(ITサービス事業(旧ソフトウェア・システムサービス事業))

ITサービス事業におきましては、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズ、超解像の画像処理エンジンを搭載した「ImageReporter」シリーズ、動画共有アプリケーション「CorporateCAST」、UML・BPM等の国際標準モデリング技術である「OMG認定技術者資格」の販売、構造的に整理するモデリング技術を活用したシステム開発、ネットワーク基盤での自社ソフトウェア製品を活用したシステム開発販売及びデジタル画像、映像処理の自社ソフトウェア製品を活用したシステム開発販売を実施してまいりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高89,520千円(前年同期比62.0%減)、営業損失3,023千円(前年同期は営業利益73,259千円)となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産(自社ビル)の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する6階建ての当該自社ビルの2フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しており満室の状態であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,047,585千円(前連結会計年度末と比べ39,719千円減)となりました。

流動資産は、685,887千円(前連結会計年度末と比べ29,939千円減)となりました。これは主に現金及び預金が656,093千円(前連結会計年度末と比べ11,372千円減)、受取手形及び売掛金が18,540千円(前連結会計年度末と比べ18,570千円減)となったこと等によるものであります。

固定資産は、361,698千円(前連結会計年度末と比べ9,779千円減)となりました。これは主に無形固定資産が15,821千円(前連結会計年度末と比べ3,687千円減)、投資その他の資産が165,933千円(前連結会計年度末と比べ6,294千円減)となったこと等によるものであります。

流動負債は、29,592千円(前連結会計年度末と比べ5,243千円減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が512千円(前連結会計年度末と比べ3,731千円減)、未払法人税等が3,648千円(前連結会計年度末と比べ2,454千円減)になったことによるものです。

純資産は、1,011,665千円(前連結会計年度末と比べ34,891千円減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、売上ならびに費用に関して短期的な変動要素が多いため、業績予想につきましては開示をひかえさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積もりの変更と区別するのが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667,465	656,093
受取手形及び売掛金	37,111	18,540
商品及び製品	5,023	4,699
原材料及び貯蔵品	538	591
その他	6,122	6,222
貸倒引当金	△434	△259
流動資産合計	715,826	685,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,826	26,226
減価償却累計額	△1,321	△2,280
建物及び構築物(純額)	23,505	23,946
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	△1,586	△1,824
工具、器具及び備品(純額)	589	350
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,740	179,942
無形固定資産		
のれん	10,982	7,156
ソフトウェア	7,901	7,058
その他	624	1,606
無形固定資産合計	19,509	15,821
投資その他の資産		
投資有価証券	12,176	12,220
差入保証金	18,115	17,452
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	46,220	40,027
長期貸付金	6,900	7,417
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△169,232	△169,232
投資その他の資産合計	172,228	165,933
固定資産合計	371,478	361,698
資産合計	1,087,305	1,047,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	512
未払金	2,379	2,166
未払法人税等	6,102	<u>3,648</u>
前受金	16,885	17,897
その他	5,226	<u>5,368</u>
流動負債合計	34,836	<u>29,592</u>
固定負債		
長期預り保証金	5,867	6,267
繰延税金負債	43	59
固定負債合計	5,911	6,327
負債合計	40,748	<u>35,919</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,422,170	<u>△1,457,357</u>
株主資本合計	1,046,040	<u>1,010,853</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	107
その他の包括利益累計額合計	79	107
少数株主持分	437	704
純資産合計	1,046,556	<u>1,011,665</u>
負債純資産合計	1,087,305	<u>1,047,585</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	245,226	98,640
売上原価	102,979	41,500
売上総利益	142,246	57,140
販売費及び一般管理費	113,643	89,920
営業利益又は営業損失(△)	28,603	<u>△32,780</u>
営業外収益		
受取利息	2,361	138
為替差益	241	27
受取補償金	801	—
その他	561	47
営業外収益合計	3,965	<u>213</u>
経常利益又は経常損失(△)	32,568	<u>△32,567</u>
特別損失		
投資有価証券評価損	20,136	—
貸倒引当金繰入額	162,332	—
訴訟関連損失	99,313	—
その他	2,684	—
特別損失合計	284,467	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△251,898	<u>△32,567</u>
法人税、住民税及び事業税	2,705	2,352
法人税等合計	2,705	2,352
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△254,603	<u>△34,919</u>
少数株主利益	128	267
四半期純損失(△)	△254,732	<u>△35,186</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△254,603	△34,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益合計	19	28
四半期包括利益	△254,584	△34,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△254,712	△35,158
少数株主に係る四半期包括利益	128	267

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア・ システムサー ビス事業	自社ビル賃貸事 業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	235,576	9,650	245,226	—	245,226
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,860	6,860	△6,860	—
計	235,576	16,511	252,087	△6,860	245,226
セグメント利益	73,259	10,331	83,591	△54,987	28,603

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,987千円には、セグメント間消去3,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,438千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業 (旧ソフトウェア・システムサ ービス事業)	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	89,520	9,120	98,640	—	98,640
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,682	5,682	△5,682	—
計	89,520	14,802	104,322	△5,682	98,640
セグメント利益又は損失(△)	△3,023	7,478	4,455	△37,235	△32,780

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,235千円には、セグメント間消去1,700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△38,935千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(訂正前)



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 業務推進グループ (氏名) 桐山雅志 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績 (平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	98	△59.7	△33	—	△33	—	△35	—
25年1月期第3四半期	245	103.1	28	—	32	—	△254	—

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 △35百万円 (—%) 25年1月期第3四半期 △254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年1月期第3四半期	△13	26	—	—
25年1月期第3四半期	△94	66	—	—

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
26年1月期第3四半期	1,047		1,011		96.5		375	50
25年1月期	1,087		1,046		96.2		388	75

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 1,010百万円 25年1月期 1,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年1月期	—	0.00	—			
26年1月期(予想)				0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想 (平成25年2月1日～平成26年1月31日)

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年1月期3Q	2,691,000株	25年1月期	2,691,000株
26年1月期3Q	－株	25年1月期	－株
26年1月期3Q	2,691,000株	25年1月期3Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当株式該分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きの対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年オリンピック東京開催決定による景況感回復の気配、継続する円安による製造業の堅調ぶり等、明るい材料が散見され、一部で景気回復の兆しがみられました。

しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、モデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。集中すべき営業案件のチームマネジメントの強化に加え製品の機能強化をしてまいりましたが、開発案件の遅延及び新機能のお客様評価に時間がかかり、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高98,640千円（前年同期比59.7%減）、営業損失33,264千円（前年同期は営業利益28,603千円）、経常損失33,054千円（前年同期は経常利益32,568千円）、四半期純損失35,674千円（前年同期は四半期純損失254,732千円）となりました。

(ITサービス事業（旧ソフトウェア・システムサービス事業））

ITサービス事業におきましては、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズ、超解像の画像処理エンジンを搭載した「ImageReporter」シリーズ、動画共有アプリケーション「CorporateCAST」、UML・BPM等の国際標準モデリング技術である「OMG認定技術者資格」の販売、構造的に整理するモデリング技術を活用したシステム開発、ネットワーク基盤での自社ソフトウェア製品を活用したシステム開発販売及びデジタル画像、映像処理の自社ソフトウェア製品を活用したシステム開発販売を実施してまいりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高89,520千円（前年同期比62.0%減）、営業損失3,023千円（前年同期は営業利益73,259千円）となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産（自社ビル）の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する6階建ての当該自社ビルの2フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しており満室の状態であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,047,065千円（前連結会計年度末と比べ40,239千円減）となりました。

流動資産は、685,884千円（前連結会計年度末と比べ29,942千円減）となりました。これは主に現金及び預金が656,093千円（前連結会計年度末と比べ11,372千円減）、受取手形及び売掛金が18,540千円（前連結会計年度末と比べ18,570千円減）となったこと等によるものであります。

固定資産は、361,180千円（前連結会計年度末と比べ10,297千円減）となりました。これは主に無形固定資産が15,821千円（前連結会計年度末と比べ3,687千円減）、投資その他の資産が165,416千円（前連結会計年度末と比べ6,812千円減）となったこと等によるものであります。

流動負債は、29,559千円（前連結会計年度末と比べ5,277千円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が512千円（前連結会計年度末と比べ3,731千円減）、未払法人税等が3,639千円（前連結会計年度末と比べ2,462千円減）になったことによるものです。

純資産は、1,011,178千円（前連結会計年度末と比べ35,378千円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、売上ならびに費用に関して短期的な変動要素が多いため、業績予想につきましては開示をひかえさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積もりの変更と区別するのが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667,465	656,093
受取手形及び売掛金	37,111	18,540
商品及び製品	5,023	4,699
原材料及び貯蔵品	538	591
その他	6,122	6,219
貸倒引当金	△434	△259
流動資産合計	715,826	685,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,826	26,226
減価償却累計額	△1,321	△2,280
建物及び構築物(純額)	23,505	23,946
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	△1,586	△1,824
工具、器具及び備品(純額)	589	350
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,740	179,942
無形固定資産		
のれん	10,982	7,156
ソフトウェア	7,901	7,058
その他	624	1,606
無形固定資産合計	19,509	15,821
投資その他の資産		
投資有価証券	12,176	12,220
差入保証金	18,115	17,452
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	46,220	40,027
長期貸付金	6,900	6,900
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△169,232	△169,232
投資その他の資産合計	172,228	165,416
固定資産合計	371,478	361,180
資産合計	1,087,305	1,047,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	512
未払金	2,379	2,166
未払法人税等	6,102	<u>3,639</u>
前受金	16,885	17,897
その他	5,226	<u>5,343</u>
流動負債合計	34,836	<u>29,559</u>
固定負債		
長期預り保証金	5,867	6,267
繰延税金負債	43	59
固定負債合計	5,911	6,327
負債合計	40,748	<u>35,886</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,422,170	<u>△1,457,845</u>
株主資本合計	1,046,040	<u>1,010,365</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	107
その他の包括利益累計額合計	79	107
少数株主持分	437	704
純資産合計	1,046,556	<u>1,011,178</u>
負債純資産合計	1,087,305	<u>1,047,065</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	245,226	98,640
売上原価	102,979	41,500
売上総利益	142,246	57,140
販売費及び一般管理費	113,643	90,405
営業利益又は営業損失(△)	28,603	△33,264
営業外収益		
受取利息	2,361	135
為替差益	241	27
受取補償金	801	—
その他	561	47
営業外収益合計	3,965	210
経常利益又は経常損失(△)	32,568	△33,054
特別損失		
投資有価証券評価損	20,136	—
貸倒引当金繰入額	162,332	—
訴訟関連損失	99,313	—
その他	2,684	—
特別損失合計	284,467	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△251,898	△33,054
法人税、住民税及び事業税	2,705	2,352
法人税等合計	2,705	2,352
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△254,603	△35,406
少数株主利益	128	267
四半期純損失(△)	△254,732	△35,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△254,603	△35,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益合計	19	28
四半期包括利益	△254,584	△35,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△254,712	△35,645
少数株主に係る四半期包括利益	128	267

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア・ システムサー ビス事業	自社ビル賃貸事 業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	235,576	9,650	245,226	—	245,226
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,860	6,860	△6,860	—
計	235,576	16,511	252,087	△6,860	245,226
セグメント利益	73,259	10,331	83,591	△54,987	28,603

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,987千円には、セグメント間消去3,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,438千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業 (旧ソフトウェア・システムサ ービス事業)	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	89,520	9,120	98,640	—	98,640
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,682	5,682	△5,682	—
計	89,520	14,802	104,322	△5,682	98,640
セグメント利益又は損失(△)	△3,023	7,478	4,455	△37,720	△33,264

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,720千円には、セグメント間消去1,700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△39,420千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。